

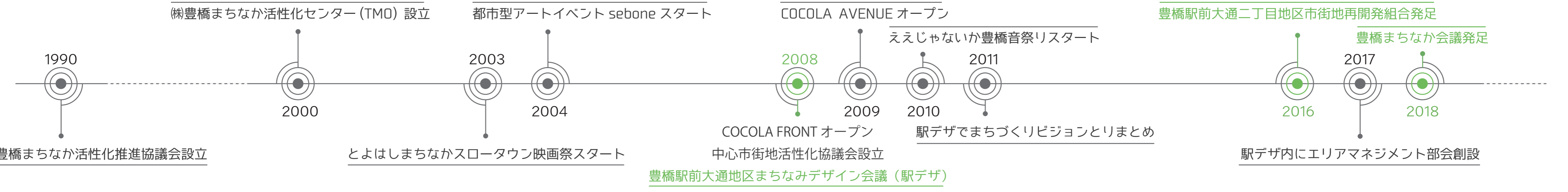
豊橋まちなか会議 始動！ - 豊橋まちなかでの、民間主導のまちづくりの歩みとこれから -



農業、工業、商業のバランスがとれた産業構成と、海、川から市街地を超えて山に至る多様な地理構造を有する東三河の中心都市である豊橋の駅前周辺エリアは、文化・産業・交通の結節点として栄えてきましたが、1990年代頃から居住人口の減少や商業機能の衰退に直面してきました。行政では豊橋駅前周辺エリアを中心市街地活性化基本計画に位置づけ、にぎわい創出、商業・サービス業の活性化、まちなか居住の促進を図る一方、民間ではマンション建設、駅前複合商業ビル建設、小規模店舗の出店などとともに、市民主体のイベント等の活動が行われてきました。しかし個々の事業・企画は効果が限定的であり、また特定主体に負担が集中したり、行政の補助ありきであったり、活動の継続的な実施やその効果の検証・改善が難しい状況にありました。

そのようななか豊橋駅前大通地区では、2008年に『豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議（駅デザ会議）』が民間主導で立ち上げられ、当地区に関する主要な企業、団体、行政が参画して「豊橋駅前大通南地区まちづくりビジョン」の策定・共有がなされました。駅デザ会議は内部外部からの様々な提案の受入・調整機能を果たすことができた反面、策定されたビジョン実現のための事業・企画を実施する実働的な組織の必要性が認識されるようになりました。2016年、『豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合』が発足し、再開発地区とその周辺エリアを視野に入れた空間づくりの検討が始まりました。こうした豊橋駅前周辺エリアの様々な人々の思いを集約し、その実現にあたる仕組みを作っていくため、2018年9月に『豊橋まちなか会議』が設立されました。

民間まちづくりの歩み



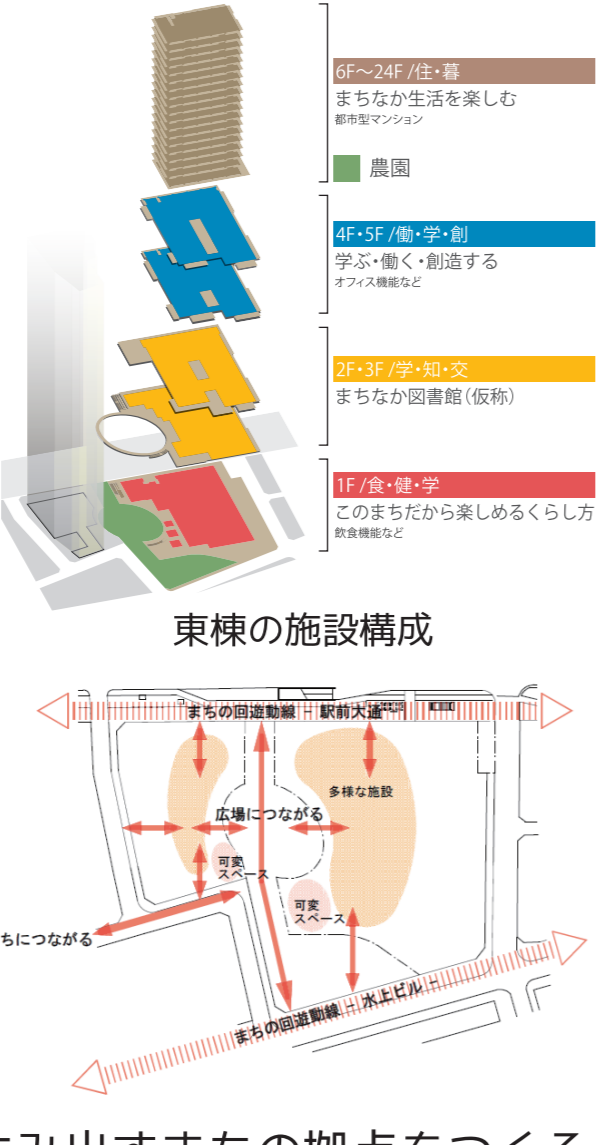
豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議（略：駅デザ会議） - まちのプレイヤーが同じテーブルにつき、まちのビジョンを描いた -

概要
設立 2008年8月
構成員 駅前大通地区の自治会・企業・団体・行政
目的 駅前大通地区のまちづくり、まちなみ形成の推進方策を検討し、地区の良好な環境の整備・活性化を図る
活動 ビジョン策定、情報発信、あいちトリエンナーレ2016受入



豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合 - 未来に向けたまちづくりをはじめるときに -

概要
施行期間 2015～2025年(予定)
面積 約1.5ha
敷地 かつては中心市街地のにぎわい拠点のひとつであったが、バスターミナルをはじめ様々な機能の縮小や廃止、建物の老朽化により、中心としての役割を失いつつある。
計画 まちなか広場を囲むように24階建ての東棟と20階建ての西棟(R1年6月時点)を配置し、商業・業務・公共公益・住宅を導入して、にぎわいの創出、商業・サービスの活性化、まちなか居住の促進を図る。
みんなが主役となり、つながりを生み出すまちの拠点をつくる



豊橋まちなか会議 (Toyohashi Machinaka Conference: TMC) - ビジョンを実現するための実働的な組織が始動 -

概要
設立 2018年9月
構成員 豊橋駅前エリアに関わる市民・企業・大学・団体・行政
目的 まちなかの様々な空間へ、多様な主体による活動付けを行うことによって場所づくり、担い手育成を行う
活動 ビジョン策定、空間・仕組みづくり、担い手・コンテンツ育成、情報発信・交流



豊橋まちなか会議
 - ロゴマークについて -
 まちなかで、ほっと一息つけるような気持ちの良いオアシスのような空間をイメージ。ベンチでは、人とつながって会話が生まれたり、本を読んだり、お弁当を食べたり。それぞれが自由に時間を過ごすことができる。ひとりひとりがのびやかに自由な意見を言いながら、共にまちづくりをしよう、という思いを込めました。

体制

| | |
|--|---|
| 会長 神野 吾郎 | 副会長 小林 宏之 黒野 有一郎 |
| 理事 愛知大学 イノチオホールディングス(株) (株)エフエム豊橋 (株)総合開発機構 中部ガス不動産(株) | 豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議 豊橋駅前大通二丁目 自治会 (大)豊橋技術科学大学 豊橋鉄道(株) |
| 監事 豊橋商工会議所 | オブザーバー 豊橋市 |

会員は随時募集中！



まちじゅうステージプロジェクト 豊橋のまちなかをもっと面白い場所へ——。

まちなかの公共的な空間を活用するアイデアを実現していく『まちじゅうステージ』プロジェクト。

2017年7月に『まちじゅうステージ』ワークショップと題して、80人ほどの方に集まって頂き、【場所 X 活動】のアイデア出しを行いました。そのときに提案された多くのアイデアからまちなか空間の可能性の大きさを感じました。豊橋まちなか会議の発足後、前回ワークショップの参加者に対して、まちなかのいくつかの「使える場所」を提示し、その場所の具体的な活用アイデアと実践者を募り、企画の実現に向けた検討を重ねてきました。これまでに9チームから出された空間活用アイデアが、まちなかの様々な場所で順次実現されています。まちのみんなの「もう少しこんな場所になればいいのに」と、まちで「いろいろやりたい」方を結び付けていくなかで、少しずつ人が訪れたい場所を育てていければと思っています。

<全体の流れ>

キックオフ

取組みの説明
使える場所の紹介
チーム組成

プレゼン

企画発表
専門家、参加者
同士の意見交換

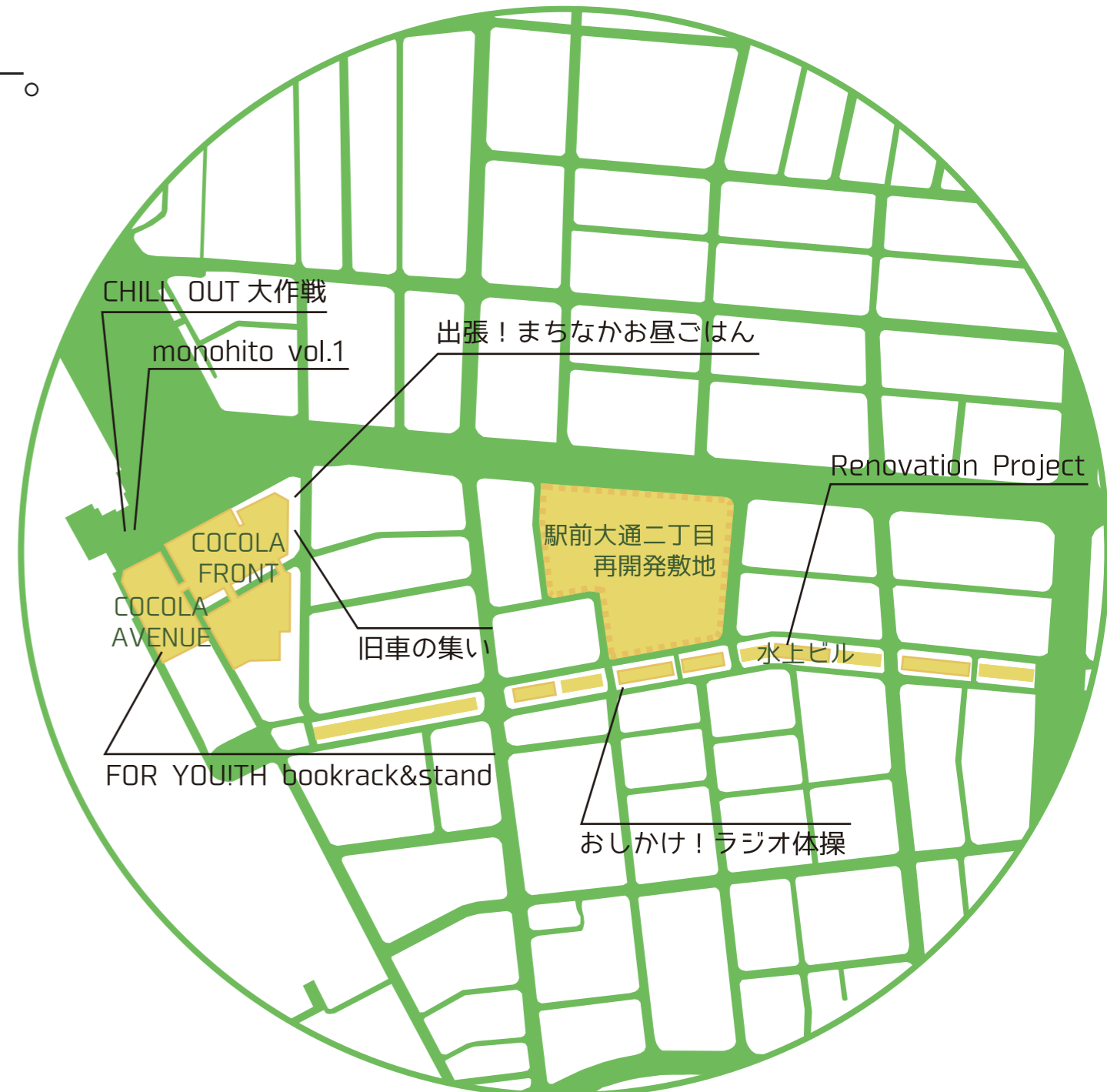
プランニング
相談

企画検討
専門家アドバイス

アクション

実験的な実施
事業の検証・改善

駅前の企業で働く、大の車好き。普段働いているまちなかへの貢献と旧車への愛が重なって、今回の企画をしました



monohito vol.1

～ものづくりとつながりをデザインする～

スプーンづくりワークショップ。MY スプーンづくりを通じて、一緒に参加した人たちとつながったり、スプーンを実際に使ってみながら周りのお店とつながったり、さらには主催者の工場のある郊外とつながったり。



ワークショップ後には駅前の飲食店で各自が作ったスプーンでカレーを味わい、店主さんからの貴重な話も聞くことができました。「モノづくり」と「人」だけでなく「まち」もつなぐことができた実感した

旧車の集い

普段はあまり目にする事ができない「旧車」がまちなかに登場！オーナーこだわりの1台を間近で見よう！自動車の輸出入が盛んな三河港を有する豊橋で、大人から子供までまちなかで旧車を楽しむことができる機会を作りたいという想いが形になりました。



出張!まちなかお昼ごはん

ランチタイムにキッチンカーが出現。煮込み料理、お弁当、デリカ…自慢のメニューで豊橋駅前周辺のランチタイムにワクワクを提供する。『豊橋駅前でも、都会のようにお弁当やキッチンカーの料理が平日でも食べられる環境をつくり、自分たちの料理で、まちなかで働くことが楽しい!嬉しい!と感じてもらえるキッカケになれば・・・』という想いから企画しました。



これまでは週末のイベントが中心で平日の活動機会がなかったが、駅前の好立地で普段接することの少ないお客さま層にPRする良い機会になっています

自宅をリノベーションしたことが、きっかけでリノベーション物件の魅力に気づきました。自分一人で物件探しから初めて、水上ビルの一室にみんなが気軽に集まれる場所を作りました

Renovation Project

リノベーションにより、みんなが使いたくなる空間をつくります。どんな空間が欲しいか、どうやってつくるかを一緒に考えるプロジェクト。リノベーションワークショップも実施予定。



おしかけ!ラジオ体操

周辺に暮らす人、お店の人、オフィスで働く人、工事をしている人、役所で働く人、様々な人の間に日常的なつながりをつくるきっかけをつくるために、水上ビルのお店におしかけてみんなでラジオ体操。ラジオ体操のあとはお店の紹介などお知らせタイム。



回を重ねるごとに、あの手この手で方法を変えることで、少しずつ人が集まるようになった。今後も、場所を変えたりしながら、CHILL OUTを実現させていきたい

CHILL OUT 大作戦

CHILL OUTとは、ゆったり過ごすという意味です。いつも誰かがいて人とつながれる、まちなかでもそんなCHILL OUTできる場所をつくりたい。特別な一日を演出するのではなく、日常的にまちを使うきっかけを作っていきたい。そんな想いから告知も行わず、通りがかった人とその場でゆっくり過ごすための空間づくりをしていきます。什器は豊橋技術科学大学で建築を学ぶ学生さんがつくったストリートファニーチャーをお借りしています。



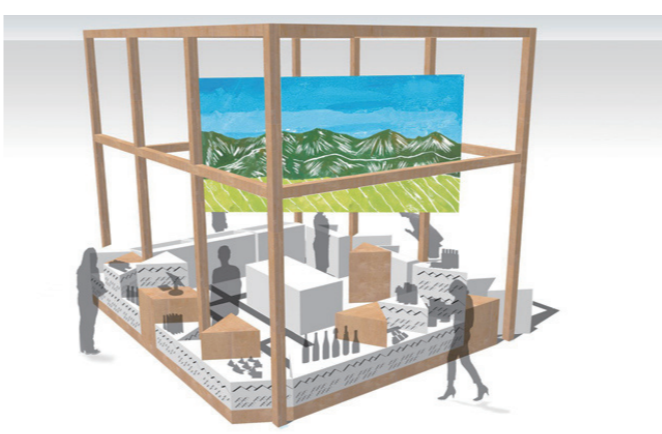
新しいお祭り

全ての人にまちへ参加するきっかけを。斬新、奇想天外な新たな祭りを創造します。祭り創造のための第一弾として、まちなか練り歩きを企画。



temiyo BAR

「食」「農」「モノづくり」の分野で注目のプレーヤーをお招きして、一緒にお酒を呑みながら、明日のクリエイティブな仕事に繋がる交流、意見交換の場をつくりたい。



<アイデア募集>
豊橋まちなか会議は、まちで「いろいろやりたい」みなさんとコラボレーションして、その「いろいろやりたい」を実現するお手伝いをしています。今後も同様のプロジェクトを実施していきますので、アイデアのある方は随時ご応募下さい!

こちら!

豊橋まちなか会議
アイデア募集ページ

